



様式1(主な取組)

活動指標名	助成校数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	47校	48校	49校	51校	51校	48校	100.0%	57,577	順調	活動概要 私立学校(51校)が行う特色ある教育(次世代を担う人材の育成の推進、体験活動の推進など)に要する経費に対して助成を行った。 特に英語教育強化や国際交流の推進といった次世代を担う人材育成に取り組む学校が増えた。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時における襲撃事件の発生等、幼児児童生徒の安全確保が課題となっており、国において「安全確保の推進」が独立した補助メニューとする等、補助メニューの組み替えが行われたことを踏まえ、本補助金を有効に活用し、課題解決に取り組むよう促していく。</li> <li>各学校へのヒアリングなどを通して、他校の取組について情報提供すること等により、引き続き特色ある教育に取り組む学校を支援していく。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画書を提出する段階で、適切に見込みを立てるよう促した。</li> <li>補助金ヒアリング等において、学校現場で課題となっていること(IC化の推進、学校安全に関すること等)への対応状況等を確認し、改善を促した。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・各学校が実施している事業内容を共有することで、他校の事業内容を参考に取り入れる学校が増加している。

##### ○外部環境の変化

・各学校が類似した事業を実施したり、毎年同じ取り組みを繰り返す傾向がある。  
・学校現場の課題 (相談体制の整備、学校安全の推進、ICT化の推進等) について、各学校に状況を把握し適切に事業計画の立案・申請を行うことが求められている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・各学校が次年度計画を検討するにあたって、より精度の高い計画を作成するよう助言を行う必要がある。  
・参考となる事例を示す等、特色ある取り組みを行う学校を支援する。  
・各学校へのヒアリングにおいて、学校現場で課題となっていることへの対応状況等を確認するとともに、本補助金を活用して課題解決に取り組むよう促す。(スクールカウンセラーの配置、ICT化に対応するための研修の受講等)

### 4 取組の改善案 (Action)

・各学校へのヒアリングなどを通して、他校の取組について情報提供すること等により、引き続き特色ある教育に取り組む学校を支援していく。